

令和4年3月10日(木)

令和3年度地域・職域連携推進関係者会議

資料6

地域・職域連携の取り組み

令和4年3月10日

全国健康保険協会群馬支部

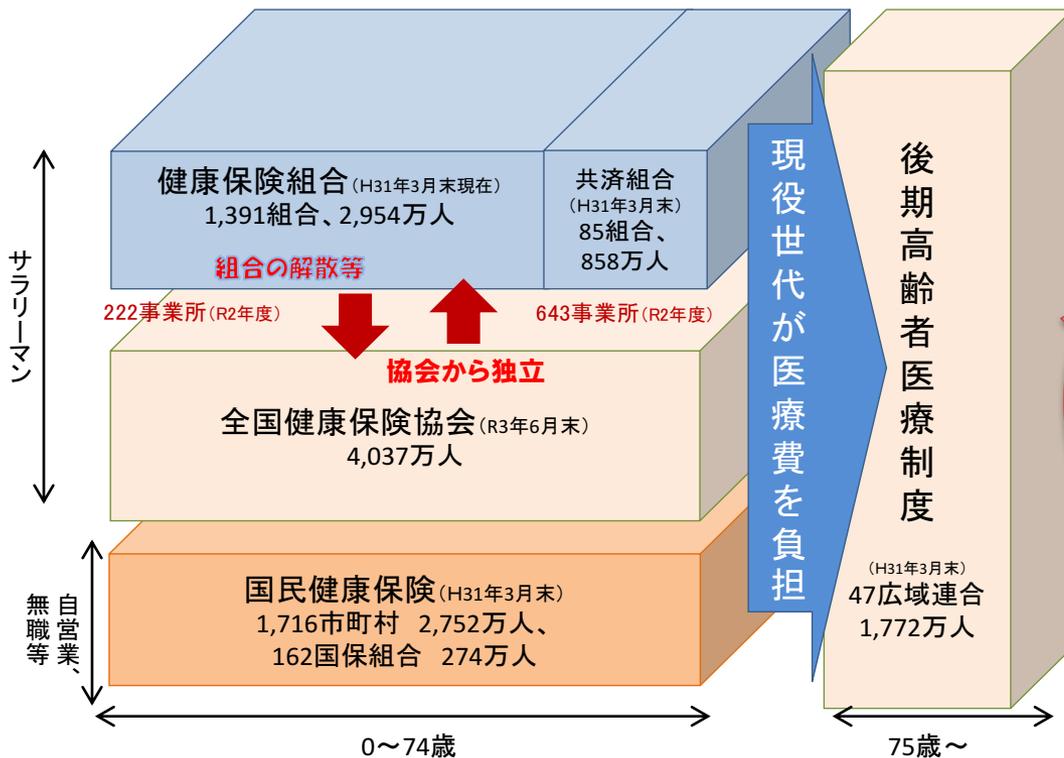
地域・職域連携推進関係者会議
(シンポジウム)

- 協会けんぽについて
- 地域・職域連携の必要性
- 地域・職域連携の取り組み
- 今後の展開

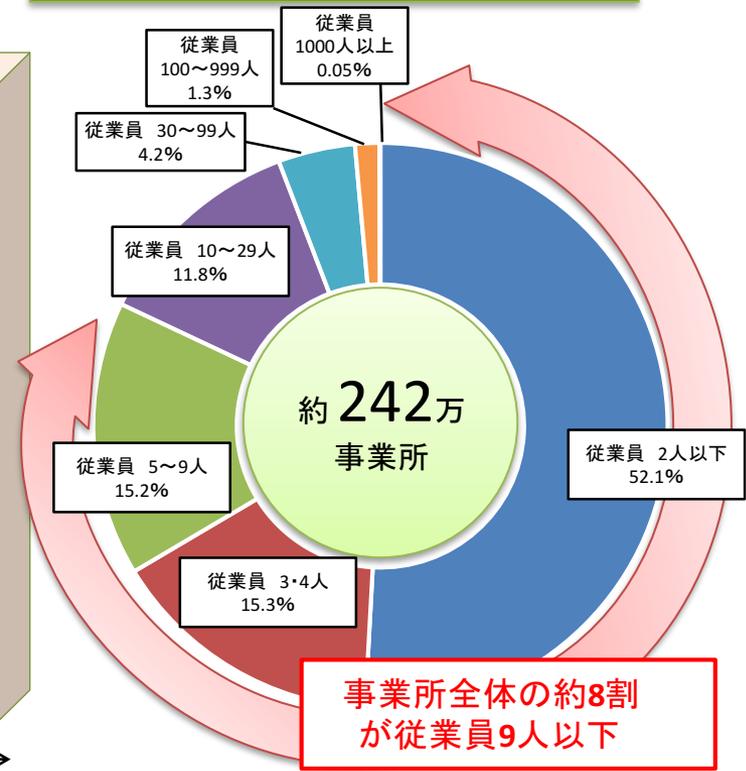
協会けんぽについて

- 242万事業所、4,037万人（国民の3.1人に1人）が加入する日本最大の保険者。
- 中小・小規模企業が多く、事業所全体の約8割が従業員9人以下。

○ 保険者の位置づけ



○ 協会の事業所規模別構成 (R3年6月末)



協会けんぽについて（群馬支部）

1. 協会けんぽ群馬支部の加入状況

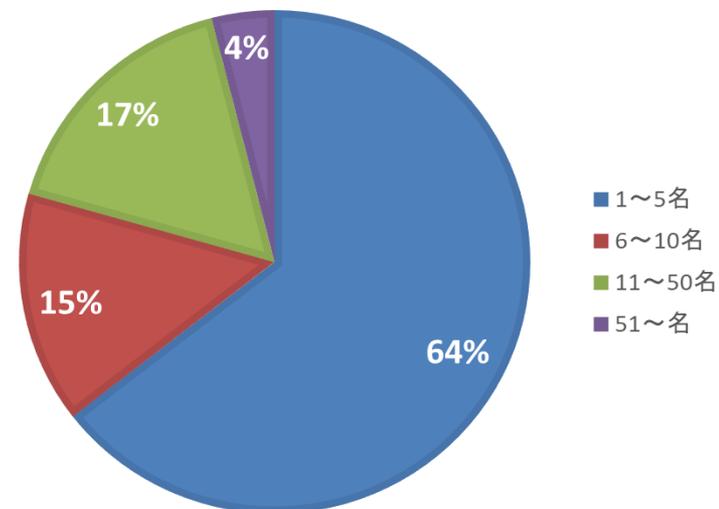
事業所数 35,532事業所（令和3年3月末現在）

加入者数（令和3年3月末現在）

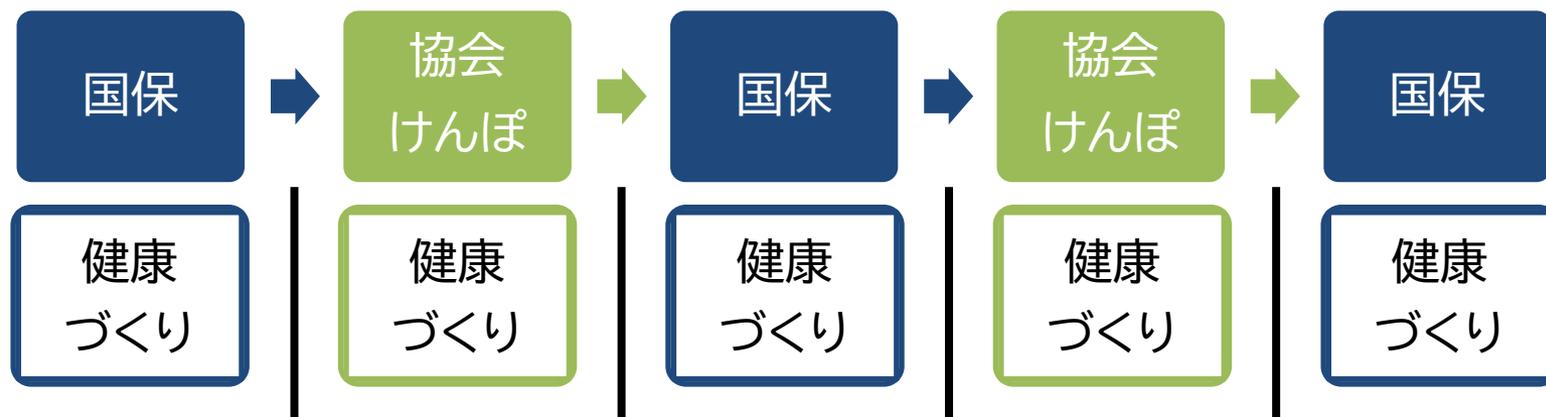
- ・ 被保険者383,396名
 - ・ 被扶養者249,528名
- 計632,924名

群馬県民約193万人 約3人に1人が協会けんぽ加入者です！

2. 加入者数別の事業所数割合



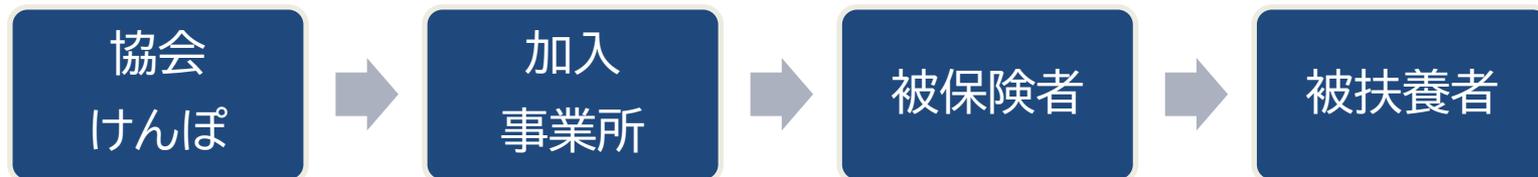
- 加入者は保険者を異動する



健康づくりが継続しない！

切れ目のない健康づくりをしたい！！

● 被扶養者への情報伝達



効果的に情報が届けられない！

被扶養者も健康にしたい！！

👉 被扶養者の生活基盤は居住地

協会けんぽ加入者 ≡ 地元住民

● データヘルス計画

【群馬支部の上位目標】

重症高血圧の割合(男性1.9%、女性0.7%)を10%低下させ
男性1.71%、女性0.63%にする

取り組み例	
健診受診	生活習慣病予防健診や特定健診の実施
特定保健指導	保健師等が該当者の生活習慣改善をサポート
重症化予防	未治療者への受診勧奨、重症化予防のための健康支援
コラボヘルス	健康経営の推進

保健事業の効果・効率性の向上が必要！



地域との連携の重要性UP！！

自治体と健康づくり事業の連携を目的とした協定締結開始！

締結先	締結日
群馬県	平成28年1月27日
前橋市	平成26年7月18日
藤岡市	平成27年6月1日
高崎市	平成27年8月4日
館林市	平成27年10月19日
桐生市	平成28年4月15日
沼田市	平成30年8月7日

何ができるか？ ⇒ 締結してから具体化

地域・職域連携の取り組み（健診）

健診受診啓発ポスターの作成（前橋市）

概要	前橋市・協会けんぽの連名の特定健診受診勧奨ポスターを作成。
分担	1年ごとに交代でポスターを作成。各所への掲示依頼も分担して実施。
効果	令和3年度用1,000枚作成。市の施設、公共交通機関（バス車内・駅構内）、コンビニ等に掲示。

健診受診啓発ポスター



セット受診の案内リーフレット

がん検診と特定健診の同時実施（前橋市ほか）

概要	市町村のがん検診と協会けんぽ被扶養者の特定健診を同時に受診できるようにした。7市においては、連名の案内文書を作成。
分担	各市町村は健診及び広報を実施。連名案内文書は協会けんぽが作成。
効果	令和2年度34市町村実施。



地域・職域連携の取り組み（運動）

運動セミナー（群馬県、前橋市）

概要	群馬フラワーパークにて、血圧測定、健康チェック、ウォーキング、健康運動指導士による歩き方教室等のイベントを実施。
分担	群馬県は参加者用バッチやウォーキングアプリの提供、前橋市と協会けんぽは入場料負担や専門職派遣等。
効果	令和元年度は189名参加。令和2年度、令和3年度は新型コロナの影響により中止。

アプリ「G-WALK+（ジ-ウォーク+）」（群馬県）

概要	スマホアプリで、ウォーキング、体重・血圧・食生活・健診等の記録、エクササイズ動画の視聴などの健康づくりの取り組みをすることによりポイントが貯まり、ポイントは年4回の抽選で特典と交換することができる。
分担	群馬県が中心となりアプリを開発。協会けんぽ等は開発会議参加及び広報推進。
効果	登録者数25,328人（うち協会けんぽ加入者4,823人）。<R4.2.16時点>

G-WALK+案内チラシ



群馬県公式アプリ

G-WALK+ (ジ-ウォーク+) は群馬県民の皆様の日々の健康づくりをサポートするアプリです。

毎日の健康づくりの取り組みでポイントが貯まります。貯まったポイントは抽選で特典と交換することができます。

利用料 無料

アプリをインストールし初期登録

iPhone版  

Android版  

ポイントを貯める

- 歩く・運動
- 健康記録
- 食生活

貯めたポイントは抽選で特典と交換

年に4回の抽選のチャンス！健康関連商品や体験型クーポンが当たる！

●お問い合わせはラブライブコールセンターへ
 受付時間 平日9:00～18:00 休日もお電話受付
0570-077-122

詳しい情報はHPへ <https://gunma.karada.live/>

アプリからのメッセージ

「目標まであと少し!」目標達成!あなたの日々の取組をアプリが励まし、褒めてくれます。

目標設定

歩数と体重を自分で目標設定。達成しなかった目標を目標せます。

バーチャルウォーキング

家の中や近所を歩いても実行気分。楽しからせられます。

SNSでの情報発信

健康づくりの取り組みを発信・共有しましょう。

健康づくりの取組をグラフで見える化

日々の歩数、体重や食事写真、健診結果等を記録できるお家健康づくりの記録アプリ

エクササイズ動画の視聴やイベント参加などでもポイント獲得

エクササイズ動画

腳步で取り組めるエクササイズ動画を配信。楽しくて、しかも気軽に身体を動かすことができます。

ランキング

アプリ上で仲間を作ってやる気アップ! 履いていても繋がります。企業単位でも開催できます。

食事は写真で記録

朝・昼・夕・夕食の記録ができます。野菜や塩分の摂取をチェックして、食生活を健康すっきりに。

ウエアラブル端末との連携

ウエアラブル端末で計測した歩数をアプリに連携できます。

群馬県

地域・職域連携の取り組み（健康経営）

※健康経営はNPO法人健康経営研究会の登録商標です。

健康づくり応援メニュー案内チラシ

●協会けんぽ群馬支部「生き生き健康事業所宣言」

「健康経営」を実践することを協会けんぽ群馬支部に宣言していただいた企業に対して、協会けんぽから様々な健康経営実践のサポートを行う事業。

（宣言のメリット）

- ・ 企業の健康度を見える化した事業所カルテを提供
- ・ 提携金融機関による金利優遇等
- ・ 活動量計の貸出と測定結果に対するアドバイス
- ・ 各種セミナーの講師を無料で派遣 など

※各種セミナーの中に群馬県職員による「ライフプランセミナー」もある。



まえばしウェルネス企業との相互認定(前橋市)

概要	協会けんぽの「生き生き健康事業所宣言」と前橋市の「まえばしウェルネス企業」のどちらかに申請すれば両方登録(相互認定)される。
分担	両者で参加企業増加の取り組み実施。参加企業にそれぞれサポートやメリットを提供。
効果	相互認定210件。<令和3年3月末時点>

前橋ウェルネス企業案内チラシ



地域・職域連携の取り組み（イベント）

ヘルスケアキャンペーン(群馬県)

概要	上毛新聞社が主催、群馬県と協会けんぽが共催となり、新聞紙面やセミナーにて健康経営を普及推進。
分担	上毛新聞社が紙面確保、群馬県がセミナー開催、協会けんぽが健康経営の情報提供等。
効果	毎年度セミナー1回、新聞紙面掲載6回程度実施。

健康フェスタ(群馬県)

概要	腎臓病早期発見・治療を啓発するイベント。
分担	群馬県が開催。協会けんぽはブース出展し、簡易健康チェックや健診等の啓発広報。
効果	毎年1回開催。

健康フェスタ(前橋市)

概要	健康づくりを啓発するイベント。
分担	前橋市が開催。協会けんぽは専門職の派遣や健診等のパンフレット提供。
効果	毎年1回開催(令和2年～3年は中止)。

ヘルスケアキャンペーン新聞記事

上毛新聞(令和2年9月29日)



上毛新聞(令和3年2月26日)

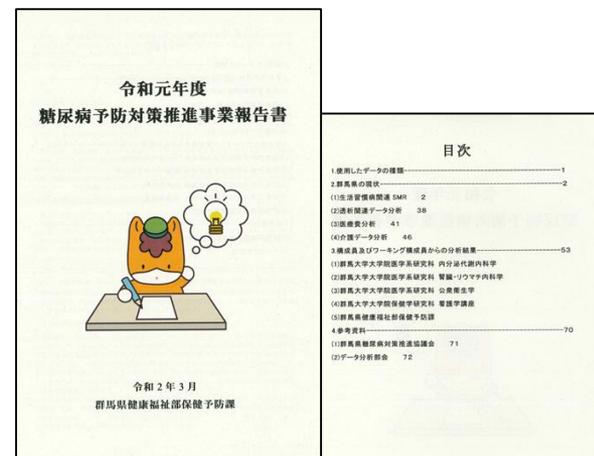


地域・職域連携の取り組み（その他）

データ分析（群馬県）

概要	国保と協会けんぽの健診データをまとめて、市町村ごとの健康リスク等を見える化。
分担	協会けんぽは健診データを匿名加工して県に提供。群馬県が分析して報告書作成。
効果	令和元年度糖尿病予防対策推進事業報告書(令和2年3月)

データ分析結果



ジェネリック使用促進（前橋市）

概要	ジェネリック医薬品使用促進のため前橋市と協会けんぽが医療機関へ同行訪問。
分担	協会けんぽが日程調整して同行訪問。
効果	令和2年度訪問1件。

事業所同行訪問（前橋市）

概要	事業者健診データ提供依頼等のため前橋市と協会けんぽが事業所へ同行訪問。
分担	協会けんぽが日程調整して同行訪問。
効果	令和元年度訪問3件。データ提供同意書1件(健診データ145件)取得。

令和4年度 全国健康保険協会 事業計画(案) 抜粋

●特定健診実施率・事業者健診データ取得率等の向上

- ・ 被扶養者の特定健診実施率の向上に向けて、**市との協定締結を進めるなど地方自治体との連携を推進し**、がん検診との同時実施等の拡大を図る。
- ・ 事業者健診データの取得促進に向けて、**都道府県労働局との連携**など国や関係団体に対する働きかけを行う。

●コラボヘルスの推進

- ・ 保険者として、事業所や**産業保健総合支援センター等と連携**したメンタルヘルス予防対策を推進する。

●ジェネリック医薬品の使用促進

- ・ 本部及び支部において、**都道府県**や日本薬剤師会、**他の保険者等と連携**した取組を実施する。

●本部・支部による医療費等分析

- ・ 協会が保有するレセプトデータ、健診データ等を活用して、**保険者協議会、都道府県、市区町村等と連携**した医療費等の分析や共同事業の実施を検討する。

健康づくり

ポイント

新型コロナ

データヘルス

アウトカム

切れ目のない

地域・職域の連携強化

データに基づく

データ分析の強化

ニューノーマルに対応

ICTの活用
(G-WALK+の活用)

”心身ともに健康で元気に永く”

ご清聴ありがとうございました。